

## 運動部活動の地域移行に係る責任の所在について 〈Q&A〉

### Q1：地域クラブ活動において、事故等による怪我が発生した場合の責任の所在はどうなりますか。

A1：地域クラブ活動の際に事故等による怪我が発生した場合は、地域クラブ活動の運営主体が責任を負うことになると思います。ただし、地域の実情に応じて、市町村及び運営団体で責任の所在について共通認識を図る必要があります、このとおりではありません。

また、生徒が怪我をした場合の救護等の対応や、保護者、学校、教育委員会等への連絡など、事故発生時の役割分担について、あらかじめ明確にするとともに、生徒、保護者等の理解を得ることが望ましいと考えます。

例1：生徒が地域クラブ活動時に怪我をした場合

→ 地域クラブチームが怪我への対応を行い、保護者及び学校への連絡を行う。怪我の程度に応じて、医療機関を受診させる。

例2：生徒が大会参加時に怪我をした場合

→ 大会主催者の指示に従って地域クラブチームが怪我への対応を行い保護者及び学校への連絡を行う。怪我の程度に応じて、医療機関を受診させる。

例3：学校から地域クラブチームへの移動中に怪我をした場合

→ 市町村、運営団体及び学校で対応について共通認識を図ることが必要。怪我への対応、連絡など各機関で連携を図るための方法を明確にする。※保険についてはQ4を参照

### Q2：地域クラブ活動において、事故等による怪我が発生した場合の補償はどうなりますか。

A2：地域クラブ活動においての事故等は学校管理下とはならず、学校管理下での事故等が対象となる日本スポーツ振興センター災害共済給付制度とは別に、運営団体を通して活動内容に見合った保険に加入することが必要です。

### Q3：指導者として従事する場合、保険の加入は必要ですか。

A3：指導者については、指導中の事故等が想定されますので適切な保険に加入する必要があります。教員が兼職兼業で従事する場合の立場は教員ではないため、学校管理下の事故等とはならず、別途、保険に加入する必要があります。

また、事故等による怪我のみではなく、事故等の発生に係る損害責任も保証する保険に加入することが望ましいと考えます。なお、参加生徒同様に運営団体を通して加入することが適切です。

### Q4：地域クラブで加入する保険は、行き帰りの途中での事故等も対象になりますか。

A4：加入する保険にもよりますが、学校管理下での事故等が対象となる日本スポーツ共済センター災害共済給付制度と同等の保険への加入が適切と考えます。したがって、運営団体においては、保険の適用範囲に行き帰り途中の事故等を含むかについても十分に確認し、選択・加入することが望ましいと考えます。

### Q5：保険についてはどのように考えますか。

A5：保険については、学校部活動であれば日本スポーツ振興センター災害共済給付制度で補償されますが、地域クラブチームでの活動は補償がありません。そのため、スポーツ安全保険などの民間の保険制度の活用が考えられ、生徒や指導者が怪我等をしても十分な補償が受けられる保険に加入することが必要と考えます。

また、他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりした場合等の賠償責任保険も含まれることが望ましいと考えます。

**Q6：地域クラブ活動において、生徒同士のトラブルが発生した場合の対応はどうすればいいですか。**

A6：生徒間トラブルが発生した場合は、活動時に指導を行っていた運営団体が対応することが望ましいと考えます。その際、トラブルの内容については保護者及び学校に連絡して共通認識を図るとともに再発防止に務めることが必要と考えます。また、いじめなど重大な問題が発生した場合は、指導していた運営団体のみで対応するのではなく、学校及び市町村と連携し適切に対応することが必要と考えます。なお、複数の市町村（学校）から生徒が集まり活動している場合のトラブルは、市町村（学校）間の連携を含めて適切に対応する必要があると考えます。このように様々なトラブルへの対応が考えられることから、あらかじめ、関係機関はどのように対応するかを決めておくことが必要と考えます。

例1：同一学校の生徒間のトラブルが発生した場合

→ 些細な喧嘩等の場合は、活動時に指導を行っていた指導者が対応し、トラブル発生時から解決までの経緯を保護者（必要に応じて学校）に連絡する。怪我を伴う喧嘩やいじめなど重大なトラブルが発生した場合は、速やかに市町村（学校）に連絡し、運営団体と学校間の連携を図り適切に対応する。

例2：複数学校の生徒間のトラブルが発生した場合

→ 基本的に例1と同じ対応を行う。運営団体を含めて学校間での連携を図り適切に対応する。

例3：複数の市町村の生徒間のトラブルが発生した場合

→ 基本的に例1と同じ対応を行う。運営団体を含めて市町村（学校）間での連携を図り適切に対応する。

**Q7：トラブル等が発生した場合は、学校のどの教員に連絡をすればよいですか。**

A7：原則、管理職に連絡を行い、不在の場合は学級担任に連絡を行います。また、学校の実情に応じて、生徒が活動するクラブチームの担当教員を置くことも考えられます。なお、学校においては、地域クラブチームからの連絡を教職員全体に周知する方法を構築する必要があります。

例1：担当教員が置かれていない場合（管理職不在）

→ 管理職に連絡しようとしたが不在だったため、学級担任に連絡した。学級担任はクラブチームと連携を図り適切に対応し、翌日、管理職に報告を行った。

例2：担当教員が置かれている場合

→ 担当教員に連絡し、担当教員はクラブチームと連携を図り適切に対応した。翌日、管理職及び学級担任に報告を行った。